



東日本大震災による 農林水産業関係の被害状況

—平成23年版「食料・農業・農村白書」より—

マグニチュード9.0を観測した東日本大震災は、地震や津波および東京電力福島第一原子力発電所事故などにより福島、宮城、岩手の3県のほか広範囲に大被害をもたらしました。

今回は、農林水産省が公表した平成23年版「食料・農業・農村白書」の内容から、平成23年5月18日現在の地震と津波による農林水産関係の被害状況をみてみます。

1. 東日本大震災

平成23年5月18日現在、地震・津波による死者が1万5,112人、不明者が9,066人に達し、建造物が全壊9万戸、半壊4万戸、一部損壊26万戸となる大災害が発生しました。東北地方では約440万世帯、関東地方では405万世帯が停電し、さらに水道、ガス、電話などが通じなくなるなど生活インフラに甚大な影響がでました（図表1）。

（図表1） 「平成における震度7以上の震災の比較」

| 名称（マグニチュード） | 発生日月 | 死者・行方不明者 | 農林水産関係被害 |
|---------------|----------|-----------------------------|----------|
| 東日本大震災（9.0） | 平成23年3月 | （死者） 15,112人 （不明） 9,066人 | 17,746億円 |
| 新潟県中越地震（6.8） | 平成16年10月 | （死者） 68人 | 1,330億円 |
| 阪神・淡路大震災（7.3） | 平成7年1月 | （死者） 6,434人 （不明） 3人 | 900億円 |

資料：農林水産省調べ、警察庁調べ

注：1）東日本大震災の数値は、5月18日現在。被害については、現時点で判明している分のみを記載しており、表中の計数等は、今後の調査により、変わる可能性がある。

2）マグニチュードは、地震が発するエネルギーの大きさを表した指標値。マグニチュードの数字が1ふえると地震のエネルギーは32倍に、2ふえると32×32で1024倍になる。

（出典：平成23年版食料・農業・農村白書）

2. 農林水産業関係の被害状況（平成23年5月18日現在）

東日本を中心に広範囲にわたる被害が発生し、農林水産省関係全体の被害額は約1兆7千7百億円になっています。特に農業・漁業が盛んな岩手、宮城、福島の各県の沿岸部は、地震に加え津波による甚大な被害が発生しました（図表2、3、4）。

（1）農業・畜産関係

流失・冠水等の被害を受けた農地の推定面積は宮城県が約1万5千ヘクタール、福島県が約6千ヘクタール、岩手県が約2千ヘクタールとなり、全体では約2万4千ヘクタールに上っています（図表3）。

被害額はこれらを含む農地の損壊（1万4,734か所）が約4千億円、農業用施設等の損壊（1万8,364か所）が約3千2百億円、農作物・家畜等が約1百億円、農業・畜産関係施設等が約4百億円となり、農地・農業用施設・農作物等の関係の被害合計額は約7千7百億円に上っています（図表2）。

(2) 林野・水産関係

林野関係の被害額は木材加工・流通施設（71か所）が約5百億円、林地荒廃（415か所）が約3百億円、治山施設（160か所）が約3百億円となり、被害合計額は約1千2百億円に上っています。水産関係の被害額は漁港施設（319漁港）が約6千4百億円、漁船（20,723隻）が約1千4百億円となり、被害合計額は約9千億円に上っています（図表2）。

(図表2) 「農林水産関係被害状況（5月18日現在）」

| 区分 | 主な被害 | 被害数 | 被害額 (億円) | 主な被害地域 |
|--------------|--------------------|--------------------|-------------|--|
| 農地・ 農業用施設 | 農地の損壊 | 14,734か所 | 3,957 | 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、長野県、静岡県、新潟県、三重県 |
| | 農業用施設等の損壊 | 18,364か所 | 3,180 | |
| | 小計 | | 33,098か所 | 7,137 |
| 農作物等 | 農作物、家畜等 | | 117 | 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、山梨県、長野県、新潟県 |
| | 農業・畜産関係施設等 | | 378 | |
| | 小計 | | | 495 |
| 林野関係 | 林地荒廃 | 415か所 | 319 | 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、新潟県、長野県、静岡県、高知県 |
| | 治山施設 | 160か所 | 288 | |
| | 林道施設等 | 1,882か所 | 27 | |
| | 森林被害 | (845ha) | 8 | |
| | 木材加工・流通施設 | 71か所 | 506 | |
| | 特用林産施設等 | 402か所 | 13 | |
| 小計 | | 2,930か所 (845ha) | 1,162 | |
| 水産関係 | 漁船 | 20,723隻 | 1,384 | 岩手県、宮城県、福島県においては壊滅的な影響の様様。 これらに加え、北海道、青森県、茨城県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、高知県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県から被害報告。 (さらに、新潟県、富山県、石川県、鳥取県の漁船が被災地で係留中に被害。) |
| | 漁港施設 | 319漁港 | 6,442 | |
| | 養殖施設 | | 455 | |
| | 養殖物 | | 545 | |
| | 市場・加工施設等共同 利用施設 | | 126 | |
| 小計 | | | 8,952 | |
| 合計 | | | 17,746 | |

資料：農林水産省調べ

注：被害については、現時点で判明している分のみを記載しており、表中の計数等は、今後の調査により、変わる可能性がある。

(出典：平成23年版食料・農業・農村白書)

(図表3) 「津波により流失や冠水等の被害を受けた農地の推定面積」

(単位：ha、%)

| 県名 | 耕地面積 (平成22年) | 流失・冠水等被害推定面積 | | |
|-----|-----------------|---------------|--------|-------|
| | | | 田耕地面積 | 畑耕地面積 |
| 青森県 | 156,800 | 79 (0.1) | 76 | 3 |
| 岩手県 | 153,900 | 1,838 (1.2) | 1,172 | 666 |
| 宮城県 | 136,300 | 15,002 (11.0) | 12,685 | 2,317 |
| 福島県 | 149,900 | 5,923 (4.0) | 5,588 | 335 |
| 茨城県 | 175,200 | 531 (0.3) | 525 | 6 |
| 千葉県 | 128,800 | 227 (0.2) | 105 | 122 |
| 合計 | 900,900 | 23,600 (2.6) | 20,151 | 3,449 |

資料：農林水産省調べ

注：1) 耕地面積は、平成22(2010)年耕地面積(田畑計)

2) 流失・冠水等被害推定面積の()内は耕地面積に占める割合である。

3) 流失・冠水等被害推定面積は、地震発生前の農地が撮影されている人工衛星画像を基に、東北地方太平洋沖地震の浸水範囲概況図(国土地理院)等の資料を活用しながら目視判断により、農地が流失または冠水したと思われる農地を推定して求積した。なお、今回被害面積を推定した浸水範囲以外の地域についても地割れ、液状化等の被害が発生しているが、これらの被害面積については現在調査中のため今回の数値には含まれていない。

4) 被害面積求積は農地集団ごとに求積しており一部水路や細い農道等も含まれている。

5) 推定面積の田畑別内訳の試算については、過去の調査結果による当該地域の田畑比率等から推計した。

(出典：平成23年版食料・農業・農村白書)

(図表4) 「岩手・宮城・福島3県の主な農業関連指標」

| | 実数 | 全国計に占める割合 |
|--------|-----------|-----------|
| 農業産出額 | 6,669億円 | 8.0% |
| 米 | 2,356億円 | 13.1% |
| 野菜 | 1,059億円 | 5.1% |
| 畜産 | 2,425億円 | 9.2% |
| 販売農家数 | 175,251戸 | 10.7% |
| 農業就業人口 | 269,910人 | 10.4% |
| 耕地面積 | 440,100ha | 9.6% |

資料：農林水産省「平成21年農業産出額(都道府県別)」、「農林業センサス」(平成22(2010)年)、「平成22年耕地面積(7月15日現在)」

(出典：平成23年版食料・農業・農村白書)

(出典：農林水産省「平成23年版食料・農業・農村白書」)

(担当：白石)